

令和 年 月 日

三重大学長 殿

研 究 科 名 :

専 攻 名 :

氏 名 :

指導・推薦大学教員名 :

印

印

三重大学機関リポジトリ及び国立国会図書館における公表許諾書

学位の種類 : 博士 (学術) ☐ 課程修了によるもの ☐ 論文提出によるもの

論文題目 :

博士論文の公表 : 私は、三重大学大学院に提出する上記の博士論文を、三重大学が運営する機関リポジトリに登録しインターネットで公表すること及び国立国会図書館の館内での閲覧・複写については、次の取扱いとします。

(1) 公表する場合について☐ 学位授与日 (既に授与されている場合は許諾書提出日) に公表可☐ 下記の留保事由が解消した時点 (令和 年 月 日以降 / 未定) で公表可

理由 :

- ☐ 出版社等の許諾が得られていないため
(掲載誌・出版社名)
- ☐ 共著者の許諾が得られないため
- ☐ 調査対象・データ提供元等の制約のため
- ☐ 肖像権の侵害・個人情報保護等のため
- ☐ 特許等の出願のため
- ☐ 将来の投稿・出版のため
- ☐ その他の理由 (具体的に :)

(2) 公表しない場合について☐ 次の理由により、公表しない

- ☐ 出版社等の許諾が得られなかったため
(掲載誌・出版社名)
- ☐ 共著者の許諾が得られなかったため
- ☐ 調査対象・データ提供元等の制約のため
- ☐ 肖像権の侵害・個人情報保護等のため
- ☐ 立体形状による表現を含む等のため
- ☐ その他の理由 (具体的に :)

(3) 国立国会図書館での閲覧・複写について

※留保事由により公表可まで1年を超える場合又は公表しない場合のみ記載してください。

- ☐ 可
- ☐ 不可

承 諾 書

令和 年 月 日

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科長 殿

所属・職名

共著者氏名

印

三重大学大学院地域イノベーション学研究科博士後期課程修了認定を受けるため、学位の対象となる下記の関連論文に係る事項について、以下の通り、学位申請論文に使用することを承諾します。

記

関連論文名：

出版社名、学会名：

巻、号、最初のページ—最後のページ：

発行年月：

学位論文申請者（申請者氏名）が上記関連論文を博士（学術）の学位申請論文に使用し、

- ☐ 三重大学学術機関リポジトリに搭載することを承諾します
- ☐ インターネットにより無償公開することを承諾します
- ☐ 保存等のために複製することを承諾します
- ☐ 国立国会図書館に送付し、館内での閲覧・複写に供することを承諾します

（注意）本研究科では、共著者の内1名でも承諾していただけない場合には、学位論文の要約だけを Web 公開することになります。

（関連論文毎に申請者が作成し、申請者が電子メール又はFAXで出版社に送付し、申請者が受け取り、事務室へ提出する。）

〇〇出版社、〇〇学会 御中

学位論文のインターネットで公開承諾のお願い

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科
学位申請者氏名

わが国では、文部科学省の平成25年3月11日付け、通知文書（24文科高第937号）により、平成25年度より博士学位を授与された者は、博士学位論文のインターネット公表が義務付けられることになりました。

そこで、貴社に掲載されました下記の論文を関連論文とする学位論文に対して、三重大学学術機関リポジトリに搭載してインターネットで公開すること、及び国立国会図書館に電子ファイル又は印刷体を送付して国立国会図書館内での閲覧、複写に供することについて承諾をお願いいたします。

記

論文名：
著者名：
雑誌名：
巻、号、ページ：
発行年月：

回 答

☐承諾します。

☐条件付きで承諾します。

（条件等：〇〇年〇〇月〇〇日以降なら可 等 ）

☐承諾しません

（理由：不可の場合、もしよろしければ理由をお聞かせください。）

年 月 日 学術雑誌発行所名

学位論文の要約

三 重 大 学

[illegible]

Consideration (考察)

[illegible]

Conclusion (結論)

※フォント 和文：MS 明朝 英文：Century 10.5 ポイント

※ 1 行の字数 40 文字 行数 40 行

※余白 左右 20 mm 上下 20 mm

※段落

○インデント 段落の始めは左 1 文字の空白

○行間 1 行

○体裁（改行時の処理）

- ・ 禁則処理を行う。
- ・ 句読点のぶらさげを行う。

○文字幅と間隔

- ・日本語と英字の間隔を自動調整する。
- ・日本語と数字の間隔を自動調整する。

○見出し

- ・ボード（太字）にする